

M選手

残念で仕方がない。

あれだけの実力ある選手が、怪我や事故ではなく自分自身のことで試合に出ることができなくなってしまったことだ。

親を含めた関係者は、私以上にショックを受けているだろう。

ただ、今に思うと、いろいろ気になることはあった。

自分の印象としてB競技は、地味で泥臭い競技である。派手さを求める余裕はない。

かつて、人気をあげるためT競技は華やかなユニフォーム等で宣伝したが、効果があったのか疑問である。むしろ、現在の方が地味だが一生懸命頑張っている。

だからこそ、競技成績が向上するにつれてのM選手や先輩のT選手の言動には違和感があった。

それより、彼らの周辺が、彼らの競技成績と期待に、その異様さをうやむやにしてしまったのではないか。

古い考えかもしれないが、良い先輩や指導者が「今の生活態度はいかん、競技に打ち込め」と言えなかったのか。もし、先輩より彼らが好成績を残しているのに、何も言えなかったことがあろうものなら、なお残念である。

私は家族で、B競技を行っていたので、M選手が小学生の頃から大きな大会で活躍してきたのは見ている。お母さんも見たことがあるし、指導者たちも見てきた。さぞかし悔しいだろう。

しかし、結果は結果である。

本人はともかく、我々国民もしっかりしないといけないのだろう。

個人的には、本人が今回の件を十分に理解し、反省し、社会性を身につけ、競技に戻ってほしい。そして、アスリートの早期育成、エリート育成の有効性も根底から考える必要もあるのではなかろうか。